# エコマーク ニュース

Eco Mark News

エコマークは(財)日本環境協会が自主的に運営している事業です。エコマークの活動予算は、すべて認定企業の皆様からのエコマーク使用料および商品認定申込者の皆様からの商品認定審査料でまかなわれています。「エコマークニュース」では、「エコマーク事業実施要領」に基づき、エコマーク事業に関する情報を提供しています。

2013.1.20 No.88


## 2012年度「エコマークコミュニケーションフォーラム」のご案内

エコマークでは、消費者、事業者等ステークホルダーが集うコミュニケーションの場として、「エコマークコミュニケーションフォーラム」を開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

◆日　時：2013年2月6日（水）　13：30～16：30（13：00開場）
◆場　所：東京ウィメンズプラザ・ホール（東京都渋谷区神宮前5-53-67）
◆参加費：無料（定員200名、先着順）
〈プログラム（予定）〉
・「エコマークアワード2012」表彰セレモニー
・「エコマークアワード2012」受賞団体によるパネルディスカッション
・エコマーク年次活動報告

◆お申し込み方法：参加申込書にご記入の上、EメールまたはFAXにてお申し込みください。
定員に達し次第、受付を終了させていただきます。
＊詳細については、エコマーク事務局のウェブサイト（http://www.ecomark.jp/forum2012.html）をご覧ください。

## 認定基準に関するお知らせ

### 認定基準の制定

以下の認定基準が制定されましたので、お知らせいたします。

| 類型番号 | 商品類型名 | 制定日 | 有効期限 |
|---|---|---|---|
| 151 | 浄化槽 Version 1 | 2012年12月1日 | 2019年11月30日 |
| 503 | ホテル・旅館 Version 1 | 2012年10月1日 | 2019年 9月30日 |

◆認定基準は（http://www.ecomark.jp/nintei.html）をご覧ください。

**〈商品類型 No.151「浄化槽 Version1」について〉**

エコマーク認定の浄化槽について、エコマーク事務局のウェブサイトでわかりやすく説明しています。「こんなところにエコマーク」浄化槽のページ（http://www.ecomark.jp/lifestyle/johkaso.html）をご覧ください。

**〈商品類型No.503「ホテル・旅館 Version1」について〉**

「スーパーホテル Lohas JR奈良駅」が認定を取得し、エコマークホテル第1号が誕生しました。次号のエコマークニュースでご紹介いたします。

## 認定基準案の公表およびパブリックコメントの受付

以下の認定基準案の公表およびパブリックコメントの受付について、お知らせいたします。

| 類型番号 | 商品類型名 | 公表期間（30 日間） |
|---|---|---|
| 新規 | テレビ Version 1 | 2013年1月11日～2013年2月9日 |

◆認定基準案、パブリックコメントの受付については（http://www.ecomark.jp/nintei2.html）をご覧ください。

## 認定基準の改定

以下の認定基準の部分的な改定の実施について、お知らせいたします。（Version の No. は改定前のもの）

| 類型番号 | 商品類型名 | 改定のポイント | 改定日 |
|---|---|---|---|
| 102 | 印刷インキ Version 2.7 | 紫外線硬化型の印刷インキの脱墨性基準の変更 | 2012年10月1日 |
| 112 | 文具・事務用品 Version 1.15 | けい紙、起案用紙への白色度基準の追加 | |
| 123 | 建築製品（内装工事関係用資材）<br>Version 2.12　分類 C-2 ～畳～ | 品質に関する基準の変更 | |
| 130 | 家具 Version 1.7 | 材料別基準の変更 | |
| 145 | プロジェクタ Version 1.2 | 待機時消費電力基準の変更 | 2013年 1月1日 |
| 131 | 土木製品 Version 1.15 | ・「港湾用ゴム資材」、「土木用遮水シート」の追加<br>・基準項目の整合 | 2013年 2月1日 |

◆改定点の詳細については（http://www.ecomark.jp/kijyun_archives.html）をご覧ください。

# 委員会報告

## 運営委員会（第 29 回）

第29回運営委員会が、2012年9月7日に開催されました。報告事項は以下のとおりです。

〈報告事項〉

1. 2011年度（平成23年度）エコマーク事業収支決算について
2. 2012年度（平成24年度）エコマーク事業の進捗状況について
3. エコマーク料金規定の改定について

◆資料等詳細は（http://www.ecomark.jp/unei_info.html）をご覧ください。

## 基準審議委員会（第 10 回、第 11 回）

第10回基準審議委員会が2012年9月11日に、第11回基準審議委員会が12月18日に開催されました。審議・報告事項は以下のとおりです。

〈審議事項〉

1. エコマーク商品類型（認定基準）案について（P.2参照）
2. エコマーク商品類型（認定基準）の部分的な改定について（P.2参照）

〈報告事項（第10回のみ）〉

3. 難燃剤・抗菌剤・生分解性プラスチックに係るエコマーク共通規定の見直しについて

◆資料等詳細は（http://www.ecomark.jp/kijyun_archives.html）をご覧ください。

## 新 認定商品のご紹介

# カーシェアリングの分野において２社のサービスがエコマーク認定を取得

自動車の共同利用システムであるカーシェアリングは、車両の走行台数や走行距離の削減、都市部における交通渋滞の緩和などにより、環境負荷低減効果をもたらすことが期待されます。カーシェアリングの普及を促進し交通手段の一つとして定着させ、社会全体の環境負荷の低減を図るという観点から、エコマークでは2012年6月に商品類型No.502「カーシェアリングVersion１」を制定し、これを受け２社のサービスが認定を取得しました。

### ■「タイムズプラス」――タイムズ24（株）

「快適なクルマ社会の実現」に向け事業活動と環境への取り組みを進めるタイムズ24（株）では、駐車場事業と連携させながらカーシェアリング事業「タイムズプラス」を展開しており、全国25都道府県に設置された約3,300のステーション、約4,700台の車両によりサービスを提供しています。同社では、カーシェアリングの環境側面や利用者の環境意識の高まりなどを踏まえ、第三者による認定の意義を重視しエコマークの認定を取得しました（認定番号12 502 001）。

「タイムズプラス」においては、ハイブリッド車や電気自動車をはじめ環境対応車等の導入を進めるとともに、会員に対してエコドライブの促進に向けた情報を提供し、利用時の環境負荷低減を図っています。また、ステーションへのLED照明の設置、車両の廃棄・リサイクル基準の策定など、事業運営に伴う環境負荷低減や資源循環の推進に努めています。

同社では、カーシェアリング拠点や車両台数の拡充を進めるとともに、電気自動車の充電ができる「パーク＆チャージ」、都市部の交通渋滞緩和や$CO_2$排出削減につながる「交通ICパーク＆ライドサービス」などの事業との連携を図ることにより、利便性が高く環境に配慮したサービスを提供していく考えです。

◆「タイムズプラス」のウェブサイト
http://timesplus.jp/

### ■「カレコ・カーシェアリングクラブ」――カーシェアリング・ジャパン（株）

カーシェアリング・ジャパン（株）では、“豊かな暮らしを支える次世代の交通インフラ・サービス”としてカーシェアリングを位置づけ、環境・街づくり、地域密着、スマート＆ファン、パートナーシップの４つの視点から「カレコ・カーシェアリングクラブ」の事業を展開しています。同社では環境面、社会面から意義のある事業の認知度をさらに高めるために、エコマークの認定を取得しました（認定番号12 502 002）。

「カレコ・カーシェアリングクラブ」では首都圏を中心に事業を展開するほか、宮城県石巻市でも復興カーシェアリングを実施しています。積極的に環境対応車等の導入を進めており、ハイブリッド車や電気自動車の台数は保有車両全体の約２割に達しています。また、地域の環境まちづくりへの参画、カーシェアリング車両から排出される$CO_2$の一部オフセット、車両の年間走行距離に応じた植樹活動など、事業全体として環境負荷低減や環境保全に努めるとともに、会員の環境意識の向上につながる取り組みを推進しています。

今後同社では、首都圏を中心にステーション数の増加や環境対応車等の充実を図るとともに、サポートセンターや座談会を通じて利用者の声を把握し、より便利で快適なカーシェアリングを目指していく考えです。

◆「カレコ・カーシェアリングクラブ」のウェブサイト
http://www.careco.jp/

「タイムズプラス」のカーシェアリングステーション

「カレコ・カーシェアリングクラブ」の植樹イベント

## トピックス

### GEN 年次総会に出席しました

世界エコラベリング・ネットワーク（GEN）の年次総会が、2012年11月5日～9日の5日間、ブラジル・リオデジャネイロで開催され、各国の環境ラベル団体、環境省等の行政機関の担当者などが出席しました。

総会の冒頭では、GEN 議長より（財）日本環境協会に対し GENICES＊認定証が授与されました。また、南アフリカ地域におけるエコラベルの発展などについてのワークショップなども行われ、活発な議論が交わされました。

次回の年次総会は、2013年10月末頃にベルギーで開催される予定です。

＊GEN 国際協調エコラベルシステム（GENICES）
2003年の GEN 年次総会で採択された GEN による監査システム。基準策定方法や組織体制などについて ISO14024（タイプⅠ環境ラベル）の規則に則って運営されているかなどを、GEN の「専門家による評価パネル」により評価するもの。

### タイグリーンラベルとの相互認証の実施に向けた協議を行いました

2012年11月21日、22日の2日間、タイ・バンコクにて、タイグリーンラベルを運営するタイ環境研究所（TEI）と相互認証に関する協議を行いました。今回の協議は、2004年に締結した（財）日本環境協会と TEI 間の相互認証基本合意書をもとに、相互認証のスキームをさらに実用的なものにすべく開催されたものです。今後、具体的な商品カテゴリーの検討や運用体制の整備などを進めていきます。

### エコプロダクツ展に出展しました

エコマーク事務局は、2012年12月13日～15日に開催された「エコプロダクツ2012」に出展しました。今回は初めての試みとして、エコマーク事務局ブース内にエコマーク使用契約企業の共同出展コーナーを設け、出展された4社（(株)エコリカ、エスケー石鹸(株)、上西産業(株)、南開工業(株)）の独自のレイアウトが魅力的な展示となりました。

また、ブース内ではこれまでのエコマークアワード受賞者や海外のエコラベル認定商品の紹介、「こどもエコクラブ」との共同による子ども向け展示を行い、年齢を問わず多くの方に足をお運びいただきました。

ブースにお越しいただいた皆様、商品や資料の提供にご協力いただいた企業の皆様に、厚くお礼を申しあげます。

### 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施しています

2013年1月16日～2月15日の1ヵ月間、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施しています。このキャンペーンは、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市が連携し、行政・団体・事業者の協働により消費者に対して「グリーン購入」を PR するものです。

今年度は4,423の店舗が参加し、キャンペーンコーナーの設置やポスター掲示による PR、エコマーク商品等の購入者を対象とした懸賞応募等を行っています。

詳しくは、（http://www.eco.pref.mie.lg.jp/earth/100100/iso_campaign/index.htm）をご覧ください。

**エコマークニュース 第88号**　2013年1月20日発行

編集・発行／財団法人 日本環境協会　エコマーク事務局
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F
TEL：基準・認証課　03-5643-6253　FAX：03-5643-6257（各課共通）
総務・契約監査課　03-5643-6255
普及・国際協力課　03-5643-6255
Homepage：http://www.ecomark.jp　E-mail：ecomark@japan.email.ne.jp

エコマークは（財）日本環境協会の登録商標です。